津波に対する船舶対応表

津波警報・注意報の種類 まで			船舶の対応					
		津波来襲	大型船、中型船 (漁船を含む)				小型船 (プレジャーボート、小型漁船等)	
		までの時間的余裕	港内着岸船		錨泊船、浮標係留船	61. c= 60	N. I. Valledo	All control All Market
			一般船舶 (作業船を含む)	危険物積載船舶	(作業船を含む)	航行船	港内着岸船	航行船、錨泊船
大津波警報	$\begin{array}{c} 1\ 0\ \mathrm{m} \\ (1\ 0\ \mathrm{m} < \operatorname{ラ} \\ \operatorname{4Ba} \\ 1\ 0\ \mathrm{m} \\ (5\ \mathrm{m} < \operatorname{ラ} \\ \operatorname{4Ba} \\ 5\ \mathrm{m} \\ (3\ \mathrm{m} < \operatorname{ラ} \\ \operatorname{4Ba} \\ \end{array} \\ \begin{array}{c} 5\ \mathrm{m} \\ \end{array}$	無し	荷役・作業中止 係留避泊又は陸上避難	荷役・作業中止 係留避泊又は陸上避難	作業中止 港内避泊	港内避泊	陸上避難	着岸後陸上避難 又は港内避泊
		有り	荷役・作業中止 港外退避	荷役・作業中止 港外退避	作業中止 港外退避	港外退避	陸揚げ固縛又は係留強化の後 陸上避難 (場合によっては港外退避)	着岸のうえ陸揚げ固縛若しくは 係留強化の後 陸上避難又は港外退避
津波警報	3 m (1 m<予想高さ≦3 m)	無し	荷役・作業中止 係留避泊	荷役・作業中止 係留避泊	作業中止 港内避泊	港内避泊	陸上避難	着岸後陸上避難 又は港内避泊
		有り	荷役・作業中止 港外退避又は係留避泊	荷役・作業中止 港外退避	作業中止 港外退避	港外退避	陸揚げ固縛又は係留強化の後 陸上避難 (場合によっては港外退避)	着岸のうえ陸揚げ固縛若しくは 係留強化の後 陸上避難又は港外退避
津波注意報	1 m (0.2 m≦予想高さ≦1 m)		荷役・作業中止 係留避泊又は港外退避	荷役・作業中止 係留避泊又は港外退避	作業中止、港内避泊 (場合によっては港外退避)	港外退避	陸揚げ固縛又は係留強化の後 陸上避難 (場合によっては港外退避)	着岸のうえ陸揚げ固縛若しくは 係留強化の後 陸上避難又は港外退避
備考				事業者側で予め対応マ ニュアルを作成				

津波来襲までの時間的余裕

有 り : 大津波・津波警報が発せられた時点から避難に要する十分な時間(船舶を港外避難、陸揚げ個縛等の安全な状態に置くまで)がある場合

無 し : 大津波警報・津波警報が発せられた時点から避難に要する十分な時間(船舶を港外避難、陸揚げ個縛等の安全な状態に置くまで)が無い場合

大型船 : タグボート等の補助船、パイロットを必要とし単独での出港が困難な船舶をいう。

中型船: 大型船及び小型船以外の船舶をいう。

小型船 :プレジャーボート、漁船等のうち、港内において陸揚げできる程度の船舶(造船所での陸揚げは含まない)をいう。

陸上避難:船舶での退避は高い危険が予想されるので、乗組員等は陸上の高い場所に避難する。可能な限り船舶の流出防止、危険物の安全措置をとる。

港外退避 : 港外の水深が深く、十分広い海域、沖合いに避難する(港外退避中に航行困難となった場合は港内避泊)。

港内避泊 :港内の緊急避難海域で錨、機関、スラスターにより津波に対抗する(小型船は流速の遅い水域で津波、漂流物を避航)。

係留避泊 :係留強化、機関の併用等により係留状態のまま津波に対抗する(陸上作業員等の緊急避難場所として乗船させることも考慮する)。

陸揚げ固縛:プレジャーボート、漁船等の小型船を陸揚げし、津波等により海上に流出しないように固縛する。